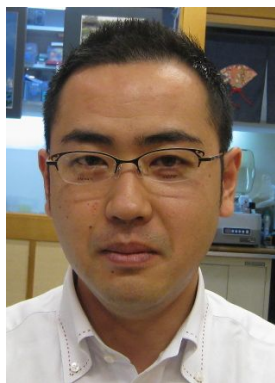


実践編 その1

今月のお客様は・・・・よく見ると、筆者の私を若くして二枚目にした感じなのがわかっていただけでしょうか？

そうです、彼は私の従兄弟の横田倫之君。（通称・のりちゃん）家は福岡なのですが、仕事の関係で現在は川崎に住んでいます。この度は親戚ですが、当店でメガネを作りたいとの事。

うんうん正解！腕を振るいましょう・・・・



では、いつもの様に所見から・・・・

- 1、 クリングスパッドは、小さくて可愛いが、もう少し大きめの物の方が安定が良さそうなので、交換する。
- 2、 クリングスパッドの位置は、やはり高い位置にあるので修正。
- 3、 フロントの水平感が右下がり。（向かって左側）前傾角調整の時にこの点を考慮。
- 4、 前傾角が浅い。さらに5～7度ぐらい深い角度の方が良い。
- 5、 耳周りはゆるゆる。ぜんぜんダメ。

この点を特に考慮しながら調整していきましょう。

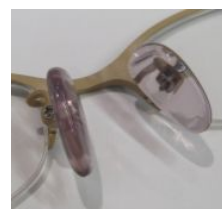
○クリングスの調整

- ・クリングスパッドの大きさ

交換前



交換後



最初に付属しているクリングスパッドは、小型の上狭下広のタイプ。悪くはないが、もう少し大きめのサイズにした方が、メガネを装用していても、安定が良い。（解りやすいように、紫にパッドで解説しています）

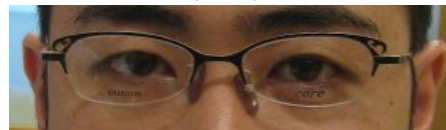
- ・クリングスパッドの位置比較

調整前



フロントを丁度良い高さへもってくると、パッドの位置は目頭辺りに来てしまい、具合が悪そう。

調整中



片方を3ミリぐらい下げると、鼻根が広がっているところにパッドが来るので、良さそうです。

調整後

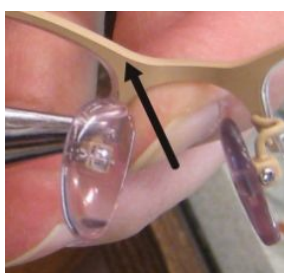


コレは、落ち着きそうな位置にパッドが来ました。ここなら安心です。

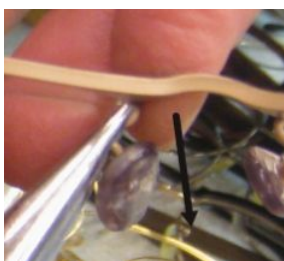
・クリングス調整の手さばき



ニシムラ No.190にて、クリングス足の箱のすぐ上を掴む。



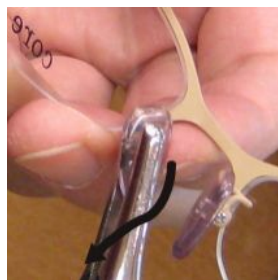
しっかり掴んだら、パッドを下げる分だけパッド下部をぐるりと上げる。上げる量と下げる量は比例する。



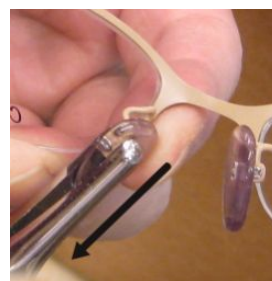
フロント上から見て、水平のU字になっているアームをヤットコ先で掴む。



水平Uをそのまま素直に下に下げて、下げきったら、パッド下部を対のレンズ方向へ畳み込みます。



ヤットコをニシムラ No.395 (写真はEMP製のヤットコ) に持ち替えて、対のレンズ方向へ曲がっているパッドを、引っ張りながら元の位置に戻します。



大まかにパッドの位置が元に戻ったら、引っ張りながら、最後の微調整をしていきます。

○前傾角の調整

調整前



未フィッティングの状態は、前傾の角度は2～3度って程度でしょうか……

かなり物足りない感じです。このままではとても気分が悪いので、目安で5度から10度になるように、しっかりと前傾角を付けていきましょう。

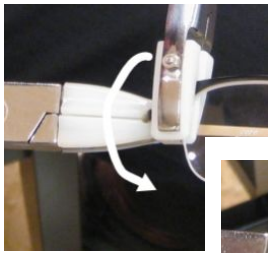
・フレーム智の形状とヤットコの選択



フレームはハーフリムで、智とフロントのロー付け付近の凸は、それほど深くないので、右手で使うヤットコは、パールの A-120 のプラスチック部分を少し掘ってやり、凹に挿むと丁度良い。左手はいつもの様にニシムラ No.1530 を使用する。

・前傾角調整の手さばき

右智の調整



左智の調整



右側の智の前傾角調整は、フレームのフロントを表側にしておこないます。右手にはニシムラ No.1530 を使い、左手には先ほどのパール A-120 を使います。

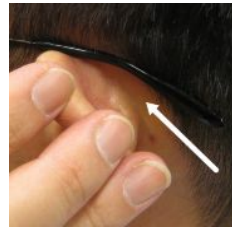
調整後



この角度で、10 度ぐらいになっただろうか？具合は良さそうです。これぐらいを理想としましょう。

○モダン調整

調整前



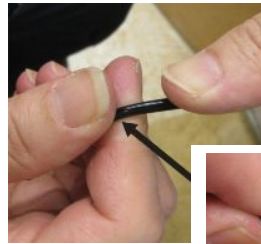
調整後



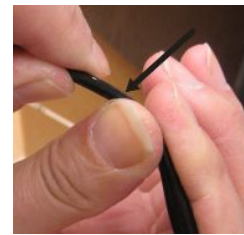
未調整では、モダンと耳介の付け根は 1 センチぐらいの隙間ができており、ゆるゆるです。このままでは、とても具合が悪く、掛けられた物ではありませんので、調整しましょう。

・モダン調整の手さばき

右モダンの調整



左モダンの調整



モダンの調整は、左右共に矢印の部分を支点として屈折点を付けていきましょう。

○仕上がり



おお！何とも具合の良さそうな掛け具合でしょう・・・1 日中掛けているメガネはこうでなくてはけません。
のりちゃ〜ん、具合のイイのは保障しますよ〜